

鹿児島県の山川発電所で地熱発電を学びます！

エネルギーの有効利用は世界の共通課題です。地球環境とエネルギー安全保障の点からエネルギー多様化の重要性は急増しています。再生可能エネルギーの一種である**地熱発電**は天候、季節、昼夜によらず安定した発電量を得られる数少ない発電方法の一つです。化石燃料に依存せず、地球温暖化や大気汚染への対策ともなるため、各国が地熱発電に力を入れています。



しかし、地熱発電開発は様々なリスクも伴うため、開発が思うように進まない途上国が多いのが現状です。開発時や発電所運開後の地熱資源の減衰リスクをはじめとした資源リスクを少なくするため開発資金確保だけでなく人材育成が重要な鍵になります。

この課題解決のため、本コースでは、受託機関の**西日本技術開発株式会社**が**ケニア地熱開発公社**の**13名の技術者**に対して、地熱概念モデルや貯留層評価の作成等、地熱開発の実践的な研修を行います。**ぜひ取材・報道をご検討ください。**

- 研修名 : ①貯留層評価コース、②概念モデルコース
- 研修期間 : ①2019年6月18日～2019年8月2日、② 2019年7月18日～2019年8月2日
- 研修員 : ①ケニア6名、②ケニア7名
- 受託機関 : 西日本技術開発株式会社
- 取材可能な日程

日付	時間	内容	場所
7/24 水	12:30-14:00	山川発電所では、九州電力の方による発電所の機能や施設の説明の後、実際の設備の様子を紹介していただきます。	山川発電所 鹿児島県指宿市山川小川 2303 番地
8/1 木	9:00～12:00 15:30～17:00	成果発表会では、研修員の代表が、研修の成果や今後の活動方針について発表し、その内容について専門家との協議が行われます。閉講式では、JICA 側、委託先側、研修員のスピーチなど一連のセレモニーがご覧いただけます。	JICA 九州 〒805-8505 福岡県北九州市八幡東区平野二丁目 2-1

本プレスリリースはウェブサイトでもご覧いただけます。 <https://www.jica.go.jp/kyushu/press/index.html>